

洋書輸入協会会報

VOL. 11
NO. 5

(通巻 121 号) 昭和 52 年 5 月

理 事 会 報 告

3 月 28 日 (月)

- (一) 文化厚生委員会から釣大会の予定について報告。7 万円
の補助金をだすこととなった。
- (二) 三晃図書(株)、関西書店 (以上正会員) 栄出版貿易、ブ
ックマン(株)、ユニオン・デザイン(株) (以上準会員) 一何
れも大阪の入会を承認。
- (三) 大雅出版貿易(株) (出先会員) リチャード・ヨーカム氏
パーカモン・プレス国際部極東代表 (賛助会員) の退会
を承認。
- [附] 3 月 11 日付け出版労連の要求書につき返書を検討、
決定。

4 月 11 日 (月)

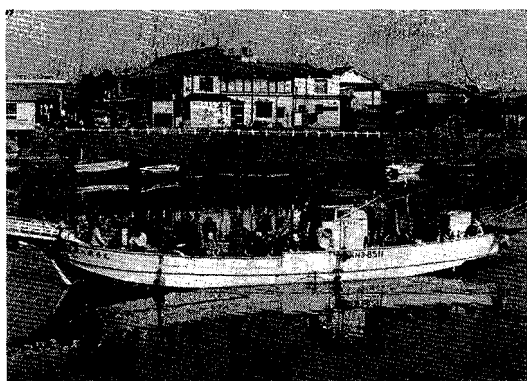
- (一) 3 月分収支計算予算対比表の検討。
- (二) マグロウヒル好学社 (正会員) の入会を承認。
- (三) 52 年度予算案を審議、理事会案を決定。
- (四) 入会后 3 年以上経過した準会員に対して正会員になる
よう依頼することに決定。
- (五) 未加盟会員への入会勧誘状を決定。さきに理事会で検
討した宛先へ発送することに決定。
- (六) 文化厚生委員会から本年のフランクフルト書籍展視察
団の計画の概要について報告。
- (七) 文化厚生委員会から、5 月 27 日—6 月 4 日の ABA 大
会参加について各社の協力を要請。
- (八) 4 月 26 日の総会終了後、共同配送システム (オリエン
タルブックセラーズ) および輸入業者企業年金保険 (朝
日生命) について説明をうけることとした。

理事会報告……………	1
文化厚生委員会だより……………	2
定時総会報告……………	2
機械化の進む大学図書館……………	4

Book Review No. 43……………	4
本の本……………	5
ニュース……………	6
来日外人名簿……………	7

通関統計……………	7
総代理店ご案内……………	7
会員の横顔(伊藤宏氏)……………	7
広告 (株) ユー・エス・エシア テック・カンパニー) ……	8

”キス釣大会”



4月2日好天にめぐまれ、総勢25人、8時15分に江ノ島を出船。2日前低気圧が通過して心配された波もなく、「先ずはお土産を」と静かな海を一時間程船を走らせて油壺沖へ。それと覚しき漁船団数十隻もすでに銀鱗をきらめかせていた。「こませ」による毛針り釣り、ここで各自50～150尾の「まいわし」(かなり大型、皆子持ち)を釣り上げいよいよ本命の「白ギス」を狙うため葉山沖まで船を戻す。われこそは一番乗りと意気込んで竿を出すも、思はしくなく船頭があちこちと釣場を移動させているうちに2時前よ

り波浪が高くなりついに断念、無念の思いをのせて2時半無事江ノ島に帰港。釣果は

一位 丸善 小川氏 キス7尾 メゴチ5尾

二位 丸善 富田氏 キス3尾 メゴチ5尾

三位 日貿 後藤氏 キス2尾 メゴチ5尾

その他賞品を多数用意するも釣果思はしくなく、幹事配分に苦慮し、遂にBB賞を急拠敬老賞に切換えユーエス・エシアティック山川社長に贈呈して開散。

(幹事 三洋出版貿易 武田)

定 時 総 会 報 告

昭和52年度定時総会を4月26日(火)午後2時30分より日本出版クラブ会議室にて開催いたしました。正会員77社出席27社、委任状27社、計54社にて総会は成立しました。(その後の出席13社、計67社)(準会員3社、賛助会員7社出席)

新会員の紹介

正会員 研友社 ㈱
マグロウヒル好學社 ㈱
㈱関西書店
三晃図書貿易 ㈱

準会員

㈱神田教文館
ブックマン(代)
栄出版貿易 ㈱
ユニオンデザイン ㈱



理事長挨拶(丸善富田氏)

昨年初秋より始まった景気の中だるみが、本だるみの様相を呈し、本格的な景気低迷の中で新年を迎えたが、政府は景気刺激策の展開を前提に予算編成を行い、52年度経済成長率は6.7%の見通しのもとにスタートした。

しかし、その後失業率の増加など、雇働動向の悪化傾向が引続く需要の不振と操業率の低下により、設備投資意欲も一層の冷え込みを見せ、加えて石油輸入に対する先行き不安などの諸条件を背景にして、政府の経済成長率予測の達成は実際上困難と見られ、財界筋では甘く見ても5%程度の成長に止まるものと、非常に厳しい見通しに立っている。今回、公定歩合の1%引下げによって、政府も景気対策に本腰を入れて来ているが、投資意欲のわくが、疑問視されている面もあり、また公定歩合の引下げに伴った予貯金金利の引下げが、減税効果を減殺することから、個人消費の回復も期待薄で、これら政府の諸施策が、景気の回復にどの程度効果を及ぼすか予断を許さないのが現況であります。

このような背景の中で、書籍業界も停滞を余儀なくされています。和書の場合など、店舗拡張によって売上増加が見られているような次第で、需要の落込みは、その極に達していると新聞が報道しています。洋書の場合、昨年度の輸入は対前年比116%と、一昨年102%に比べ好転は見られています。本年度は、文教および科学振興関係政府予算は11.2%の増加となり、また私立大学の助成金も復活するなど、やや明るい材料が見られるとはいえるものの、一般公共料金を始め、物価の上昇は予想を上まわり、再び諸コストが高騰している折から、大学・企業等、洋書の主要市場での図書購入費の増加は期待出来ず、引続き厳しい環境下にあります。

さて、このような経済環境に加えて、洋書業界は多くの重要な問題を抱えております。例えば、昨年京都で開催されたIPA大会で討議され、勧告としてまとめられた諸問題即ち、出版物の流通、著作権および複写、情報媒体の多様化への対処、価格問題など、いずれも我々洋書業者の将来方向を大きく左右する根深いファクターであります。独禁法の改正をひかえて、価格問題は重大な局面を迎えております。

以上、洋書業界は需要の停滞を始め、いろいろ難問に当面向しているのです、これらを打開し業界の存続と発展を図る上で、各社共に、相互信頼と親睦を高めつつ、一致協力して進んで行きたいと考えています。

理事会報告（丸善・福田氏）

理事会を計26回開催し協会の諸活動につき取りくんで来

た。昭和51年5月25日～6月1日に開催されたIPA（国際出版連合）第20回大会に協会を代表して理事3社が参加した。8月10日に懇談会、10月26日に臨時総会を開催した。以上、詳細については会報その他で報告の通りです。

各委員会報告

企画開発（日賀・村山氏）、総務（丸善・柴田氏）、会報（紀伊國・相良氏）、渉外PR（丸善・福田氏）、ダイレクター（丸善・福田氏）、雑誌（USACO・山川氏）、洋書交換（日賀・村山氏）、通関（紀伊國・佐野氏）、文教（丸善・柴田氏）、文化厚生（三洋・鈴木氏）各委員長および委員長代理より報告がなされた。

関西支部報告および予算案の件

事務局寺久保氏より、関西支部の事業報告、決算報告および52年度予算案の説明がなされた。

昭和51年度決算報告（丸善・柴田氏）

監査報告（内外交易・山縣氏、南江堂・佐野氏）

以上の各報告はいずれも満場一致で可決、承認された。

昭和52年度予算案提出（丸善・柴田氏）

当予算案は、先に説明された関西支部予算案共、満場一致で可決された。

閉会の辞（紀伊國屋書店・相良氏）

昨年から洋書輸入協会が、否応なしに世の中に引っぱり出されて、与論に揉まれるようになったという大きな変化があった。我々をめぐる情勢は常に流動している。情勢の変化に目をつぶるわけにはゆかないので、これに直面して今までのしきたり、考えるべきところは変え、その中から新たに道を見出して行きたいと思う。

閉会后、「共同配送システム」につきオリエンタル・ブックセラーズ岩井氏より、「輸入業者年金保険」について朝日生命保険株式会社年金保険部福田部長並びに西課長より説明があった。

その後、別室において内外交易・山県氏の音頭で乾盃の上、なごやかに懇談パーティーが開催された。

* * * * *

機械化の進む大学図書館

図書館の仕事に電算機を利用するということは、そんなに新しいことではない。アメリカでは1960年初頭からといわれ、西ドイツでは1965～66年にかけて利用し始めている。わが国の大学図書館において電算化が動き出したのは1966～67年からで、小樽商大、東大医学部、慶大医学部、京都産業大などの図書館がその最も初期の部に当る。以来10年を経た今日、わが国の大学図書館は、着実に業務の機械化を指向しているようである。このことは国立大学図書館協議会図書館機械化調査研究班の最近の調査をみてもわかる。それによれば、現在、機械化実施中の図書館は18館（国立15、私立3）、準備中の図書館6館（国立5、私立1計24館）にも及んでいる。

“電算機と図書館”という取り合わせは、図書館の事情に詳しくない人にとっては、まことに意外に思われるかも知れない。図書館とは、図書や雑誌を借りて講かに読書をしたり、辞書や事典を用いて調べものをする所というイメージを抱くのが普通であり、現代の科学技術が生んだ人工頭脳—電算機が図書館と直接係わりがあると予想する人は少ないであろう。しかし、その予想とは裏腹に、大学図書館の機械化は進みつつある。1965～76年の間に発表された図書館業務の機械化に関する文献の数は、論文と単行本を合わせるとその数は450を超えている。それ程図書館関係者の間では電算機に対する関心が高まっているのである。なぜであろうか。それは大学図書館を取り巻く環境と条件が著しく変化してしまい、従来のままではどうにも動きが取

れなくなる恐れがあるからである。

大学図書館は、大学における学術の研究と教育に役立つものでなければならないのであるが、最近の出版物の激増と利用者の増加は、それを受け入れる処理能力を超えてしまっていて、その機能を維持するのに苦勞している。国・公・私立の大学が昭和49年度に受け入れた図書冊数は、1,795,386冊で、10年前のそれに比べ倍増している。にも拘らず、これを整理する職員は昭和50年に8501人で、10年前の1.4倍の増でしかない。一方、学生数の増加に伴ってユーザーの増加は著しくかつ多様化している。そしてユーザーは絶えず迅速なサービスを要求し、的確な資料と資料についての情報の提供を求めている。図書館は、図書と施設と職員とのバランスがとれていなければ十分な機能を発揮できない。限られた職員で増大する図書館資料を適切に処理し、利用者に迅速に提供するツールとして電算機が図書館にも登場してきたのであろう。

現在電算化されている図書館業務は、整理面では単行本の受入、予算差引、カード目録・冊子目録の作成、雑誌の受付、発注・精算、雑誌目録作成リスト打出、閲覧面では閲覧貸出・返却処理、文献検索、各種統計表の作成などである。電算機利用についての評価は種々あるがここではふれないでおこう。各館ともその目的とする所は業務の合理化・省力化であり、図書館機能の強化であり、図書館サービスの向上である。（横浜国立大学附属図書館「館報」Vol. 2, No. 1, April 1977）

BOOK REVIEW No. 43

Modern English ²/_e. Vol. 1. 2

出版社 Harcourt Brace (米)

著 者 William E. Ruther Ford

各 ¥1,830

このテキストは英語を母国語とせず、かつある程度英語の素養のある初級上～中級上向けに編さんされ、1968年の初版本を改訂、及び簡易化して2巻本とし、Vol. 1は1975年、Vol. 2は1977年に出版されました。著者Ruther Fordは南加大のAmerican Language Instituteに主事しています。第2版での主な特徴は以下に示す如くです。まず言語学というよりコミュニケーションとし

ての言語に重点を置き教師、学生双方に受け入れ易くしたこと。各ダイラログは内容を一新し、文は短かく各パート、10～12パラグラフに限定したこと、文の書き換え練習などWriting exerciseを増やし“書く”能力を多角的に補強したことは注目に値します。また第2外国語としての英語指導にあたり、言語学、社会学、教育心理学の最近の調査結果をわかりやすく応用した点、否定、疑

問、関係代名詞等、文章構成に不可欠な基礎事項を徹底し、例外を含む特殊構文等は減らし、実用に即した文法を取り入れていること、各 Unit の“語彙”は入念に精選され、さらにこのテキストは南加大の授業で学生達が直接試用し、検討を加えた上で作られたものであることも重要です。Vol. 1 は 15unit から構成され Vol. 2 は初めに予備練習をへてさらに 9 Unit から構成されています。

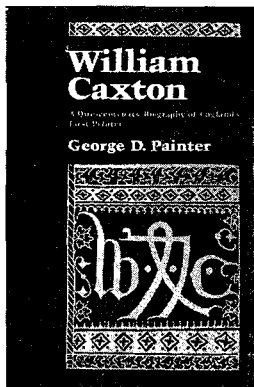
この予備練習は Vol. 1 で学んだ英文法の総復習と Vol. 2 で必要な知識を織りこみ、Vol. 1 と 2 とのかけ橋的役割を果たしています。Vol. 2 でとりあげる Topic は、いく分高度になっていますがその分、各 Unit の練習問

題も増え、内容は初版に比べやさしくなっています。

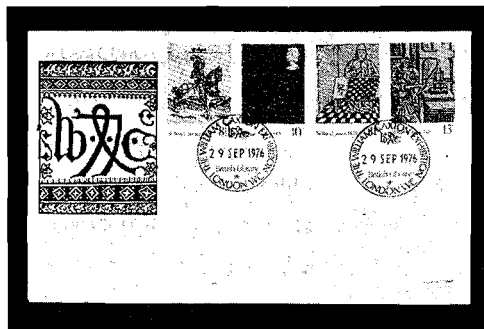
Vol. 1, 2 ととも各 Unit の文法、音声、綴り、単語形成、読み書き練習についての教授法及び指図のあと問題に入り、テキストミシン目で製本されているので Writing Exercise の部分など切りとって教師に提出可能にもなっています。Teaching aid として Instructor's Manual と各ユニットの dialogue、発音練習 oraldrills, dictation の一部を収録したカセットテープ Vol. 1 セット（概価 ¥5,470）Vol. 2 は未刊各 2 本が付属品として用意されています。

ブックスフォーアジア 市川温

本 の 本



丸善本の図書館長 八 木 佐 吉



William Caxton: A Quincentenary Biography of England's First Printer.
By George D. Painter. London, 1976. Chatto & Windus. Demy 8vo
(24×15cm) xi, 227 pp., with pls. & text-illus. £ 7.50

ペインター著イギリス活版印刷の創始者ウィリアム・カクストン伝。

昨1976年9月イギリスでは、同国で金属活版印刷を応用して、最初の印刷物を刊行した。ウィリアム・カクストンの500年祭（Quincentenary）が盛大に祝われた。British Library（もとの British Museum Library が主体で新たな組織）では、その記念展覧会を9月29日から、今年にかけて開催し、カクストンの事蹟とその遺した出版物と関係する文献等の書物、文書を展覧した。また記念の郵便切手も四種発行した。その一枚にカクストン版の本の挿絵からとった“騎馬武者”版画がある。これの解説がナイトとしてあるが、これは服装などから

判断して、間違っているなどという話までがおきているそうであるが、細かな点にまで、イギリスの人々の注意がむけられている程に、カクストンはイギリス文化史上重要な人物なのである。ドイツにおけるグーテンベルクの場合と同じよう、あるいはそれ以上の人気というか、歴史的位置は、カクストンがイギリス人の中では高いらしい。

カクストンは1422年ごろケンツ州に生まれた。16歳のとき、ロンドンの織物商に見習店員として入店して商業の道に入る。23歳、大陸に渡り、フランドール附近で商業に従事し、のちにブリュージュでイギリス商人の団体のガヴァーナー（組合長）となった。手腕も能力も人望

もあったのであろう。

このころカクストンは、そのパトロン英国王エドワード四世の妹ヨークのマーガレットのために、フランス文の書物の英訳をしている。その後ケルンに赴いて、そこで土地の印刷業者から、グーテンベルク達が20年程以前に新らしく始めた父型母型を利用してできる同型多数の鋳造活字の活版印刷術を修得した。やがてブリュージュに戻ったカクストンはオランダ人・名筆家マンシオン (Colard Mansion) と共同して、印刷所をひらいた。

ここでの最初の仕事は、さきにマーガレットのために仏語から英訳した「トロイ史」の出版であった。この本が英語で書かれた書物で、活版印刷された最初の出版物である榮譽をになうものである。ときは1474または1475年とされている。

1476年の秋、カクストンは母国に帰り、ロンドンのウェストミンスター聖堂の近くで、印刷業を創業した。ここでの最初の印刷物はラテン文の「インダルヂェンス」(免罪符)で1476年12月に印行された。それより以降百種近くの活字印刷の出版物をのこしてカクストンは1491年歿した。カクストンと印刷術史、また活版印刷の技術研究書は、その後おびただしく出版された。

また、カクストン版の完本はもとより、その零葉 (fragment) 一紙でも頗る稀覯とされ、珍重されている現状となった。これらのことは本書「カクストン 500 年 祭記念の伝記」に、やや詳らかにされている。

著者 George D. Painter は英国図書館 (旧博物館図

書館) にキーパーとして1938から1974まで勤務し、また伝記作家としても著名な人。すでに Marcel Proust 伝 2 巻 (1959, '65) を出版し、更に Andre Gide 伝 (1968) をも著述しており、一方 The Book Collector, The Library, Gutenberg Jahrbuch などに書誌学、印刷史の論文を掲載し、欧米の読書界では周知の人。なお、1977 年にはフランスの偉大な作家であり、政治家でもある、Chateaubriand 伝を刊行する予定ときく。

なお Caxtoniana (カクストン文献) が数多いなかでも権威書のひとつとされているものに1861年刊の William Blades; The Life and Typography of William Caxton, England's First Printer 2 巻がある。ブレーズの生家はロンドンで代々の印刷業者であったが、ウィリアム・ブレーズは特に家業についての熱心な研究家でこのカクストン伝のほか書誌・印刷関係の文献もたくさん著述した。そのなかでも The Enemies of Books (1880, London) はわが国の書誌学、愛書家のあいだでも、ひろく知られ、読まれた書物愛の文献で、すでに和訳もある程の本である。また、前記の「カクストン伝及び印刷術」は Burt Franklin 社からレプリント版が現に発売中である (\$41.50) 英国の書誌学者で出版社主でもある Derek S. Brewer 氏が昨年 12 月に来日して、一日麻布の国際文化会館で「カクストン 500 年」の講演をした。席上、同氏がすでにロンドンの学会で話された内容の小冊子をもたらされたことも追記しておく。

ニュース

おしらせ

ロンドン・ブック・フェア 1977

10月6日(木) — 1日のみ

英語の出版物のみが展示される。

主催者: Lionel Leventhal Ltd. and
Clive Bingley Ltd.

会場: ロンドン・インターコンチネンタル・
ホテル

お問合せ先: Miss Hazel Hill, Exhibition
Manager, London Book Fair, 16
Pembroke Road, London W 11

第一回モスクワ・ブック・フェア

9月6日(火) ~ 14日(水)

主催者: ソ連邦出版・印刷・書籍取引国家委員会

会場: ソ連邦経済達成展示場

案内書は事務局にあります。

来日外人名簿

- 3月下旬 Mr. Mark Streatfeild, Export Sales Manager,
G. Allen & Unwin Ltd.
- 〃 Mr. Peter H. Lengemann, Vice President,
Marketing and Finance, International
Division, Addison-Wesley Publishing Co.,
Inc.
- 4月上旬 Mr. Peter H. Neumann, Executive Vice
President, Addison-Wesley Publishing Co.,
Inc.
- 〃 Mr. Laurent Paris, Didier
- 〃 Mr. A. L. Polon, Director, Kaiman & Polon
- 〃 Mr. Yoon-Sun Kim, President, Pan Korea
Book Corporation
- 4月中旬 Mr. Johann Holler, General Manager, Keip
KG
- 〃 Mr. Günter Holtz, Director of Sales, Springer
Verlag
- 〃 Mr. Jos Sansone, Director, Technical Publish-
ing, The American Society of Mechanical
Engineers
- 〃 Mr. Tom C. Drewes, President, Quality Book
Inc.
- 〃 Thomas Gray, College Specialist, Harcourt
Barace Jovanovich International Corpora-
tion

通 関 統 計

外国貿易概況 (大蔵省関税局編、日本関税協会発行)

1977年月1号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和52年1月 \$8,502,000

昭和51年1月 \$8,599,000

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。

お手許の Agent List にご記入願います。

丸 善 (株) ☎ 272-7211

Barwise, J. (ed.)—Handbook of Mathematical Logic.
(Studies in Logic and Foundations of Mathema-
tics, Vol. 90) '77. (North-Holland) June
ca. ¥28,500

Herbert, W. J. and P. C. Wilkinson. (eds.)—A Dic-
tionary of Immunology. 2nd ed. '77. 240 p.
(Blackwell Sci. Pub.) August ca. ¥1,900

Roitt, I. H.—Essential Immunology. 3rd ed. '77. 280 p.
(Blackwell Sci. Pub.) September ca. ¥1,900

会 員 の 横 顔

東 販
伊 藤 宏



三月も末のある日、
伊藤さんのお話を伺う
べく東五軒町の東販を
訪れる。普段筆者が取
材に伺う洋書店は、二
三の大企業を例外とし
て、殆どが小じんまり
したオフィスと店のコ
ンビネーションなのだ

が、ここはまるで様子が違う。事務室のカウンターの
ところに立って見ると奥の方は何やら霞んで見える。
しかし洋書を扱っているのは、その中の一部門海外課
の仕事だそうで、それを聞いてほっと安心(?)すると
は、大企業コンプレックスのなせる業かと思う。

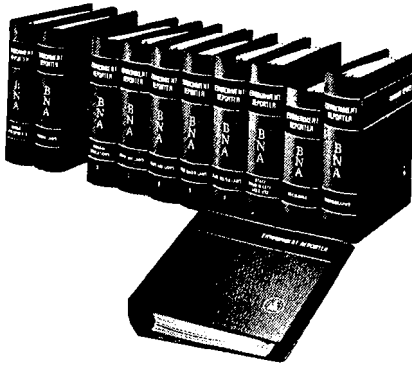
その海外課で仕事をするようになってから4年目と
いう伊藤さんは昭和8年生まれ。医者になれ、という
父上の希望で大学の医学部に籍を置いたが、インター
ンコースなどを歩んでいたら一本立ちになるのは何年
かかるか判らない。それでは好きな人と結婚も出来な
い、というところから経済学部に移り、31年東販に入
社。そしてその翌年早々に結婚して新家庭を作る。情
熱家らしい彼の一面がうかがえる話である。入社当時
は江戸川の営業所で手をマメだらけにして返品荒縄
しばりなどもした。それから都内販売を担当、書店と
の接触から営業の仕事を手で覚えること三年。次に
東販の出版科学研究所に移り、コンピューターもまだ
なかった頃のこととて、パンチカードや計算機と取り
くんで出版統計の調査やもの書きなど。その次は販売
企画で、東販のイメージアップに励む。書店の奥さん
達や女性従業員を対照としての、料理講習会やファッ
ションショウなど、並の本屋勤めでは出来ない面白い
仕事の経験もされている。

車が好きで、大学時代すでに免許をとったというの
だから、車歴はすでに四半世紀になる。ヨット・モ
ーターボートも趣味で、乗りもの好きな善人という定義
を、伊藤さんの福々しいお顔を見て成程と思ったりす
る。インドアでは麻雀が仲々の腕で、先日の協会の大会
では五位入賞の実績がある。御家族は、そのかみ医
者えの道を断念(?)させた奥さまとの間に、大学生を
頭に三人のお子様がいる恵まれた家庭である。

(自宅：文京区小石川2-8-11)

(K.S.)

米政府の政策、規制、法令等は 完備されていますか？



対米・貿易、金融、合併会社の設立、現地法人の設立、技術・業務提携等の活動を遂行する際関係する法律を最新の状態で把握することが不可欠の要素となります。

BNA (The Bureau of National Affairs, INC.) は米国の法律関係の情報を取扱う、最高の専門スタッフを擁する米国最大の情報機関で、1933年より業務活動(報告、分析、説明)を開始致しました。現在下記の通りのレポートを出版しております。

I. 法律・経済に関する情報サービス

- * Antitrust & Trade Regulation Reporter (週刊)
- * BNA's Patent, Trademark & Copyright Journal (週刊)
- * Criminal Law Reporter (週刊)
- * Daily Report for Executives (日刊)
- * Daily Tax Report (日刊)
- * Family Law Reporter (週刊)
- * Federal Contracts Report (週刊)
- * Housing & Development Reporter (隔週)
- * International Trade Reporter's
U.S. Export Weekly (週刊)
- Export Shipping Manual (週刊)
- * Media Law Reporter
- * U.S. Law Week (週刊)
- * Securities Regulations & Law Report (週刊)
- * U.S. Patents Quarterly
- * Washington Financial Reports (週刊)

II. 税管理プログラム

- * Estates, Gifts and Trusts (隔月)
- * Executive Compensation
- * Executive Compensation Journal
- * Foreign Income (月刊)
- * International
- * International Journal (月刊)
- * Primary Sources
- * U.S. Income (隔月)

■このBNAサービスを必要とされる方は

対米取引に関係ある、諸官庁、弁護士、判事、検事、会社経営者、弁理士、技術者、国際コンサルタント、人事管理担当者等の方々です。

■カタログ見本誌等のご希望の方はご一報下さればお送り申し上げます。

III. 環境、保全情報サービス

- * Chemical Regulation Reporter (週刊)
- * Energy Users Report (週刊)
- * Environment Reporter (週刊)
- * Noise Regulation Reporter (隔週)
- * Occupational Safety & Health Reporter (週刊)
- * Product Safety & Liability Reporter (週刊)
- * Sewage Treatment Construction Grants Manual (月刊)

IV. 労働に関する情報サービス

- * BNA Pension Reporter (週刊)
- * BNA Policy and Practice Series (週刊)
- * Collective Bargaining Negotiations & Contracts (週刊)
- * Construction Labor Report (週刊)
- * Daily Labor Report (日刊)
- * Fair Employment Practice Service (隔週)
- * Government Employee Relations Report (週刊)
- * Government Manager (隔週)
- * Labor Relations Reporter (週刊)
- * Labor Arbitration Report (週刊)
- * Manpower Information Service (隔週)
- * Retail/Services Labor Report (週刊)
- * Security and Loyalty Reporter
- * Union Labor Report (隔月)
- * White Collar Report (週刊)

日本販売総代理店

SCIENCE & INDUSTRY INFORMATION SERVICE
USACO®

株式会社 ユー・エス・エシアテック カンパニー

- 本 社 ☎105 東京都港区新橋1丁目13番12号 堤ビル ☎東京(03)502-6471(代表)
- 大 阪 ☎530 大阪市北区堂島船大工町14番地 日昭ビル ☎大阪(06)344-6624(代表)
- 名古屋 ☎461 名古屋市東区榑木町3丁目17番地 ☎名古屋(052)931-2601(代表)
- 土 浦 ☎300 茨城県土浦市富士崎町122-1 和光ビル ☎土 浦(0298)23-1773(代表)